

2026年2月16日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
代表者 代表取締役社長 兼 COO 小嶋 智彰
(コード番号 4344 東証プライム)
問合せ先 取締役兼 CFO 青山 文彦
電話番号 03 - 5797 - 7165

“据え置き型”AI 同時通訳機「ポケットーク X」 関西国際空港での実証実験の開始に関するお知らせ

当社の連結子会社であるポケットーク株式会社(本社:東京都中央区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO: 松田 憲幸。以下、ポケットーク社)は、2月16日(月)より関西国際空港にて、AI 通訳機「ポケットーク X(エックス)」の公共空間での実用性の検証を目的とした実証実験を開始いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 概要

近年、日本の空港では旺盛なインバウンド需要に加え、乗り継ぎ利用や災害・遅延時の対応など、より複雑で即時性の高い案内対応が求められる場面が増えています。一方で、限られた人員の中で多言語対応を行なうことは現場の大きな負担になっているのと同時に、特定言語に依存しない新たなコミュニケーション手段の必要性が高まっています。

本実証実験は、世界各国からの利用者が集まる関西国際空港に AI 同時通訳機「ポケットーク X」を設置し、現場の視点を取り入れながら、社会実装を見据えた検証を進める取り組みです。



2. 実証実験について

今回の実証実験では、空港の案内業務という実運用の現場で「ポケットーク X」を活用し、多言語対応の実態や対話の流れを検証します。現場起点で得られた知見を製品仕様に反映し、公共空間における多言語コミュニケーションの実装モデルの確立を目指します。

- ・実施期間 : 2026年2月16日(月)より開始
- ・設置場所 : 関西国際空港 第1ターミナル4階カウンター
(アジアの玄関口として国内外から多くの訪日客が訪れ、1時間あたり約60~100人の外国人が利用)
- ・検証内容 : 空港利用者と案内スタッフとの対面コミュニケーションにおける有効性や課題

3. 「ポケットーク X」について

ポケットーク社が提供している AI 同時通訳ソフトウェア「Sentio (センティオ)」を基盤とし、対面での自然な会話を前提に設計された“据え置き型”の AI 同時通訳機です。両面ディスプレイによって話者それぞれの発話を瞬時に翻訳・表示することで、相手の反応を見ながら会話を進めることができ、空港案内のようにスピードと正確性が求められる場面での活用を想定しています。また、高感度なデュアルマイクにより、騒音の多い空港環境下でも安定した通訳を実現します。

ポケットーク社は、「言葉の壁をなくす」というミッションのもと、AI 通訳を個人利用にとどまらず、空港や病院、行政窓口など、日常的に多言語対応が求められる現場を支える社会インフラへと発展させることを目指しています。

関西国際空港での本実証実験は、その実現に向けた重要なステップとして、今後の製品開発および導入モデルの確立につなげてまいります。

以上